



じんけんけいはつこうざ  
人権啓発講座

りかい  
理解しよう

はったつしょう  
発達障がい



10月30日(水)

### こどもたちのハブニングから気づいたこと —カイロプラクティックの視点から、 身体とこころのゆがみについて考えよう— 南雲 佐知子 さん



ふたり こ はったつしょう しんだん ととき はったつしょう とくせい い  
二人の子どもが発達障がいと診断された時、発達障がいの特性とも言われる  
しせい めをむ  
姿勢に目を向けました。

それはせほねのアライメント(せいれつ)をただすことでしんけい機能をかいぜんし、じりつしんけい  
をせい、自分で考える力、かんがをコントロールする力に通じるとされています。

そのために、子どもには固いものに寝かせるなど睡眠環境を変え、箸や鉛筆  
の持ち方を直し、勉強机の椅子を首まで背もたれのあるものに変えたり、椅子  
にバランスクッションを置いたりしました。

コミュニケーションが苦手な学校には遅れがちでも、行くものだと思ってい  
た娘は現在、大学生になり教員にサポートをしてもらいながら学生生活を  
けいぞくちゅう  
継続中です。

先生とのトラブルがきっかけでふとうこうになった息子(むすこ)は現在、つうしんせいこうこう(かよ  
いながらアルバイト先で失敗した時(とき)の気持ちの切り替えができるようになり、  
コミュニケーションがとれるようになりました。

今回(こんかい)、姿勢(しせい)のことをお話し(おなし)させてもらったのは、「わが子(こ)の将来(しょうらい)を考えた時(とき)に、  
自分で生きていける力(ちから)をつけて欲しい」「発達障がい(はったつしょう)の特性(とくせい)でできること、でき  
ないことがあっても、自分で考えて行動(こうどう)していく力(ちから)や、周り(まわ)の人(ひと)に助け(たすけ)を求め  
ていける力(ちから)をつけて欲しい」「そのために親(おや)として何(なに)ができるか」という思い(おも)か  
らですと話(はな)されました。

11月20日(水)

### はったつしょう 発達障がいって何(なん)だろう びょうき しょう こせい 病気(びょうき)? 障がい(しょうがい)? 個性(こせい)? ながい ともき 永井 智樹 さん



しょう しやくかんそうだんしえん そうだんしえんせんもんいん  
(障がい者(しょうがいしゃ)基幹(きかん)相談(そうだん)支援(しえん)センター クローバー 相談(そうだん)支援(しえん)専門(せんもん)員(いん))

はったつしょう  
発達障がい(はったつしょう)は一見(いっけん)してわかりづらく、それゆえに理解(りかい)されづら  
いことが生きづらさに繋が(つな)がっていきます。

また、おな(おな) びょうめい(びょうめい) かんきょう(かんきょう) ちが(ちが) しょうじょう(しょうじょう) で ちが(ちが)  
背景(はいけい)にも左右(さゆう)されるので、それを見(み)ていくことも大切(たいせつ)です。

くに(くに) せいど(せいど) や、しえん(しえん) だれ(だれ) かく(かく) たいせつ(たいせつ)  
国(くに)に制度(せいど)や、支援(しえん)があっても誰(だれ)かがなんとかしてくれるわけ  
ではなく、自分(おれ)の意志(いし)も必要(ひつよう)になり、本人(ほんにん)が「ここにいてもいい」と  
おも(おも) ばしょ(ばしょ) ひと(ひと) かつどう(かつどう) ひつよう(ひつよう)  
思(おも)える場所(ばしょ)・人(ひと)・活動(かつどう)が必要(ひつよう)です。

ふつう(ふつう) とか じょうしき(じょうしき) とか ちか(ちか) かん(かん) しゅうきょう(しゅうきょう) じかん(じかん) かん(かん) かつ(かつ) みた(みた)  
普通(ふつう)とか常識(じょうしき)とか価値観(ちかかん)・宗教(しゅうきょう)・時間(じかん)・感じ方(かんかた)など「見(み)  
えな(えな)いもの」をきょうゆう(きょうゆう) ひと(ひと) つなが(つな)が かん(かん)  
共有(きょうゆう)することで人と繋が(つな)がること(こと)ができる(が) かん(かん) じゅうよう(じゅうよう)  
は、気持ち(きもち)を受け止(う)め、考え(かんが)方は(かた) 否定(ひてい)せず(せず)に聞(き)くことが(こと) 重要(じゅうよう)  
重要(じゅうよう)です。

みんな(みんな)が(が) 同じ(おな) ではなく(はな)、はば(はば) あり(あり)、おたが(おたが) の「同じ(おな)」「違(ちが)い」を  
みと(みと) あ(あ) いっしょ(いっしょ) かんが(かんが) せいかい(せいかい)  
認め合(みとあ)い一緒(いっしょ)に考え(かんが)、正解(せいかい)に(に) こだわ(た)らないこと(こと)。

そして(そして) 「孤立(こりつ)」しない、させない(させない) 社会(しゃかい) にして(して) いくために(ために)、障(しょう)  
がい(がい) の有無(うむ) にか(か) わらず(らず)、おたが(おたが) が困(こま) っていること(こと) を出(だ) し合(あ) っ  
て、どう(どう) したら(したら) 助(たす) かるか(か) をいっしょ(いっしょ) にかんが(かんが) ことが(こと) 重要(じゅうよう)  
重要(じゅうよう)であると(と) 話(はな) され(され) ました(ました)。



### こうぎほうこく 講座報告

しせつりようしやがくしゅうかい 施設利用者学習会ではオンライン申請の説明と人権講演会を開催しました。

## 『いのちを歌おう』

～わたしのいのち あなたのいのち 大切ないのち～

11月30日『LIVES』の竹本信也さんと平田康さんに戦争や部落差別をはじめ様々な人権課題についてのお話と心に響く歌声を披露していただきました。



アンケートの一部をご紹介します。

・差別のない(させない)社会、自分ができることをこまめに積上げていきたいと改めて感じました。

・例年この学習会が終わった後、とても温かい気持ちになります。「相手の立場に立って考え行動する」子育ての時のこの言葉を柱にし、子どもに伝えていきたい。

このようにアンケートに書かれた思いの輪を広げて温かい地域を一緒につくっていきましょう。

いざという時  
知っているとお安心

## 聞いてみたいな!! 小児はり ～ お家で簡単セルフケア ～

こそだてこうりゅうじぎょう  
子育て交流事業

●日時● 1月16日(木) 10:00～11:30

●場所● 神村交流館 神村コミュニティセンター 遊戯室

●講師● 浅尾 悠輔さん (MASA鍼灸整骨院 院長)

●対象● 乳幼児～未就学児と保護者 (保護者のみの参加も可能)

●内容● ・突然の子どもの体調の変化に小児鍼でできること  
・家庭にある物で代用できる簡単セルフケア

●定員● 先着10名 (申込必要) ※申込受付12月5日(木)～

●持参物● ティースプーン・歯ブラシ (大人用)・タオル・飲み物



ねづきがわるいな...



よなきがひどくてしんどいな...

おねしょをするようになったな...



じんけんけいはつこうざ  
人権啓発講座

## ミュージック・ケア

ほごしや こども いっしょ たの おんがくりようほう  
保護者と子どもが一緒に楽しめる音楽療法



●日時● 2月1日(土) 10:00～11:00

3月1日(土) 10:00～11:00

●申込● 1か月前から電話・メール受付

●場所● 神村交流館 神村コミュニティセンター 遊戯室

●持物● 飲み物・タオル・着替え (必要な場合)

●託児● 有り (申込必要)

※子育て相談 11:00～ 3組 (要申込) 1組15分



こうれいしゃこうりゅうじぎょう  
高齢者交流事業

## けんこう 講座

●日時● 1月28日(火) 13:30～15:00

2月25日(火) 13:30～15:00

●内容● 100歳体操と脳トレ

●場所● 神村ふれあいプラザ



## ぎょうせいしよしむりょうそうだんかい 行政書士無料相談会

日時

ひみつ げんじゆいた  
秘密は厳守致します

2025年(令和7年)

2月15日(土) 9:15～11:45 3組まで(1組45分)

※予約は実施月の1日から行います。



### 【申込・問合せ】

かむらこうりゅうかん かむら 神村交流館 神村コミュニティセンター (福山市神村町4790-1)

☎ (084) 934-3445

✉ kamura-community@city.fukuyama.hiroshima.jp